

目 次

はじめに
令和7年度 幼・小・中学校教育指導の重点 ダイジェスト
本書の活用に当たって

第1章 学校(園)教育充実のための基本事項及び本年度の重点	1
○重点1 確かな学力の育成 — 「とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)」の推進—	2
○重点2 豊かな心の育成 — 「いのちの教育」を核として—	4
○重点3 健やかな体の育成 — 「元気っ子育成計画」に基づく 体力の向上と健康の保持増進—	5
第2章 幼稚園教育	6
○園運営	6
○幼児教育	8
第3章 小・中学校教育	10
○学校運営	10
○学年経営	12
○学級経営	13
○道徳教育	14
○生徒指導	18
○人権教育(幼・小・中学校共通)	22
○健康・安全の指導(幼・小・中学校共通)	24
○キャリア教育	28
○福祉教育(幼・小・中学校共通)	32
○国際教育(幼・小・中学校共通)	33
○帰国・外国人児童生徒教育(幼・小・中学校共通)	34
○情報教育(情報活用能力の育成)	36
○環境教育(幼・小・中学校共通)	38
第4章 学習指導	40
○国語(小学校)	46
○国語(中学校)	47
○社会(小学校)	48
○社会(中学校)	49
○算数	50
○数学	51
○理科(小学校)	52
○理科(中学校)	53
○生活	54
○音楽(小学校)	56
○音楽(中学校)	57
○図画工作	58
○美術	59
○家庭	60
○技術・家庭	61
○体育	62
○保健体育	63
○外国語活動	64
○外国語(小学校)	65
○外国語(中学校)	66
○特別の教科 道徳(小学校)	68
○特別の教科 道徳(中学校)	69
○総合的な学習の時間(小学校)	72
○総合的な学習の時間(中学校)	73
○特別活動(小・中学校共通)	74
○特別活動《学級活動》(小学校)	76
○特別活動《学級活動》(中学校)	77
第5章 特別支援教育	78
第6章 へき地・小規模学校教育	84
第7章 現職研修	86
○「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」について	90
(資料)	
1 令和6年度全国学力・学習状況調査について	98
2 「いのちの教育」の取組について	100
3 「いじめ事案初期対応」実践フローチャート	101
4 令和6年度富山県児童生徒体力・運動能力調査について	102
5 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」について	103
6 「キャリア・パスポート」について	104
7 小・中学校及び義務教育学校集団宿泊学習実施基準	105
8 中学校及び義務教育学校修学旅行実施基準	107
9 富山県児童・生徒の運動競技に関する基準	108
10 学校における安全な集団登山の実施について(通知)	110
11 令和7年度幼児教育研究協議会 協議主題	115
12 令和7年度富山県小学校教育研究会 各部会研究主題	115
13 令和7年度富山県中学校教育研究会 各部会研究主題	116
14 令和6年幼児児童生徒の指導に関する諸通知	117
15 令和6年度富山県教育委員会刊行物一覧	119
用語索引	

本書の活用に当たって

- 1 本書は、「幼稚園教育要領」及び小・中学校の「学習指導要領」並びに「第2期富山県教育大綱」及び「第3期富山県教育振興基本計画」及び「富山県教育委員会重点施策」の趣旨に基づき、令和7年度の幼・小・中学校における教育指導の重点を示したものである。
- 2 本県幼・小・中学校教育の一層の充実を図るため、主に次の点に留意して作成した。
 - (1) 学校訪問研修等からの本県教育の課題への対応
 - (2) 学習指導要領等実施への対応
 - (3) 実践に生きる資料の掲載、内容の精選
各学校（園）において、学校（園）運営及び学習指導等に改善点が生かされ、幼・小・中学校教育の一層の充実が図られることを期待している。
- 3 第1章では、本年度富山県教育の全体構想図を掲載するとともに、幼・小・中学校教育を充実するために、10の基本事項と三つの重点を示した。

基本事項とは、豊かな人間性と好ましい人間関係を育成し、一人一人の人格の完成を目指す学校教育の指導にとって欠くことのできない事柄のことであり、常に基底に据えて諸活動を展開するよう努めていただきたい。

また、重点は、本年度の富山県教育の充実の柱であり、引き続き、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」の三つを示した。県全体の幼・小・中学校が、三つの重点に関し、一層充実した取組を実践していくことを期待している。

第2章からは、幼・小・中学校において指導する事項について、本県教育委員会の教育指導の指標である「一人一人を見つめ、育てる」ことを目指し、特に「三つの重点との関連」「学習指導要領等への対応」に配慮して作成した。
- 4 各章における教科、領域等の初めに目標を明示し、その達成への視点が明確になるよう指導内容、指導方法等を記述した。第4章「学習指導」では、小・中学校において、各教科等の指導内容や方法について「現状と課題」と「方策」の2項目でまとめ、本県教育の課題を明らかにするとともに、その課題を解決するための具体的な方策を記載した。
- 5 本書で解説した用語については、いろいろな立場から様々な解釈がなされており、各学校（園）にあっては、そのことを踏まえた上で十分論議し、指導の充実等に生かされることを期待している。
- 6 関連資料及び参考資料、巻末資料については、主として国や県の統計資料や施策及び刊行物等を記載した。また、「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」「いじめ事案初期対応実践フローチャート」等、学校で活用できる資料も掲載した。教育に対する国や県の取組について理解するとともに、授業改善に生かすなど、校内研修等での積極的な活用を期待している。
- 7 各学校（園）においては、異校種の内容についても理解し、一貫性のある指導に努めるとともに、上述の趣旨を踏まえて創意工夫を生かした取組が展開されるよう期待している。
- 8 義務教育学校については、前期6年の前期課程を小学校と、後期3年の後期課程を中学校と読み替えるものとする。